

日本心理学会「注意と認知」研究会 第16回合宿研究会プログラム

(2018年3月4日～6日 ホテルサンルートプラザ名古屋) 2018.2.26版

| | | | | |
|-----------------------------|---------------|--|---|--|
| 受付 | | 13:20-13:55 | | |
| 4 SUN | 視覚探索 | 14:00-14:30 | 1 課題非関連のオブジェクトフローが視覚的注意を誘導する 樋口 洋子 (名古屋大学)・井上 聡 (トヨタ自動車)・遠藤 照昌 (トヨタ自動車)・熊田 孝恒 (京都大学) | |
| | | 14:30-15:00 | 2 ネガティブテンプレート形成に及ぼす空間的グルーピングの効果 反田 智之 (北海道大学)・河原 純一郎 (北海道大学) | |
| | | 15:00-15:30 | 3 刺激配列の時空間的特性が探索・隠蔽戦略に及ぼす影響 伊藤 資浩 (北海道大学/日本学術振興会)・河原 純一郎 (北海道大学) | |
| | | 15:30-16:00 | 4 視覚探索における無視手がかりの効果 川島 朋也 (神戸大学/日本学術振興会)・松本 絵理子 (神戸大学) | |
| | 注意の捕捉 | 16:15-16:45 | 5 報酬連合刺激の見えが価値駆動的な注意捕捉の生起に及ぼす影響 峯 知里 (京都大学/日本学術振興会)・齋木 潤 (京都大学) | |
| 16:45-17:15 | | 6 視覚的な注意の捕捉に及ぼす意味的類似性の効果 鈴木 玄 (専修大学)・大久保 街亜 (専修大学) | | |
| 【特別講演】 | 17:30-18:30 | 24 周産期からの身体感覚と社会的認知の発達の関連 明和 政子 (京都大学) | | |
| 懇親会 | | | | |
| 5 MON | 注意と記憶 | 9:15-9:45 | 7 視覚性短期記憶におけるHebb反復効果 上田 祥行 (京都大学)・Tsong-Ren Huang (National Taiwan University)・Su-Ling Yeh (National Taiwan University)・齋藤 智 (京都大学) | |
| | | 9:45-10:15 | 8 アイコニックメモリの成立に注意は必要か？ 大嶽 侑玄 (大正大学)・井関 龍太 (大正大学) | |
| | | 10:15-10:45 | 9 視覚性ワーキングメモリの保持における空間的・非空間的属性の抑制 Qi Li (東京大学) | |
| | 感覚間協応 | 11:00-11:30 | 10 聴覚刺激による視覚情報処理の促進と妨害 -顔刺激の弁別反応時間と再認率を指標として 小西 慶治 (東京大学)・中島 亮一 (東京大学)・横澤 一彦 (東京大学) | |
| | | 11:30-12:00 | 11 書体と音声の協応を規定する要因の検討 齋木 潤 (京都大学)・吉田 弘生 (京都大学)・金谷 翔子 (京都大学/日本学術振興) | |
| | | 12:00-12:30 | 12 視聴覚特徴連合の知覚学習 林 明日美 (東京大学)・横澤 一彦 (東京大学) | |
| | 昼食 (各自)・運営委員会 | | | |
| | 共感覚 | 14:30-15:00 | 13 色聴共感覚における音色に基づく音のカテゴリ化 鳥羽山 莉沙 (東京大学)・横澤 一彦 (東京大学) | |
| | | 15:00-15:30 | 14 漢字の形態情報が共感覚色の数に与える影響 宇野 究人 (東京大学)・浅野 倫子 (立教大学)・横澤 一彦 (東京大学) | |
| 文化差 | 15:45-16:15 | 15 鑑賞者の文化的背景が芸術感性に与える影響 若林 正浩 (大阪大学)・佐藤 宏道 (大阪大学)・内藤 智之 (大阪大学) | | |
| | 16:15-16:45 | 16 パズル課題に対する子どもの行動-日本と中国の比較- Jiahui Fu (聖心女子大学) | | |
| 認知一般 | 17:00-17:30 | 17 フォニックスの指導は英単語に対する初期視覚ERPを増強させる : 日本語を母語とする中学生の事例研究 奥村 安寿子 (国立精神・神経医療研究センター)・北 洋輔 (国立精神・神経医療研究センター)・稲垣 真澄 (国立精神・神経医療研究センター) | | |
| | 17:30-18:00 | 18 物理的な一貫性と歴史的な一貫性の境界面としての意識 -チューリングの光と影を越えて- 川津 茂生 (国際武道大学) | | |
| 【特別企画】 | 18:00-18:30 | 25 特徴統合と視覚的注意 : Anne Treisman先生を偲んで 横澤 一彦 (東京大学) | | |
| 夕食 (ホテル近くのお店を予約してあります。自由参加) | | | | |
| 6 TUE | 魅力・情動 | 9:15-9:45 | 19 視線の有効性と標的刺激の情動価が人物の信頼性判断に及ぼす影響 白井 理沙子 (関西学院大学)・小川 洋和 (関西学院大学) | |
| | | 9:45-10:15 | 20 不快情動喚起時の有効視野の縮小-時間経過が与える影響- 増田 奈央子 (久留米大学)・園田 直子 (久留米大学) | |
| | 視覚と行為 | 10:30-11:00 | 21 手に重りを持つことによる心的回転過程の変調 武藤 拓之 (大阪大学/日本学術振興会)・松下 戦具 (大阪大学/大阪樟蔭女子大学)・森川 和則 (大阪大学) | |
| | | 11:00-11:30 | 22 身体部位間の視覚プライミングにおける視点依存性の生起条件 光松 秀倫 (名古屋大学) | |
| | | 11:30-12:00 | 23 操作主体感の生起に基づく視覚処理の空間的偏り 中島 亮一 (東京大学) | |